

環境負荷低減の取組

■ 下水道局では、「ISO14001」環境マネジメントシステムを活用し、良好な放流水質を維持するとともに、事業活動に伴い発生する処理水や汚泥のリサイクルなどにより、環境負荷の低減に努めています。

( 水再生センターを中心とした物質フロー )



※物質フローでは、水再生センターの下水処理の過程において、環境に影響を与える物質の年間全体量の収支を明らかにしています。

「経営・環境レポート 2006」の本編では、この概要版に掲載した項目を詳しく説明しているほか、経営改善に向けた取組や事業指標なども掲載しています。ぜひ、ホームページ ( <http://www.gesui.metro.tokyo.jp/> ) をご覧ください。

東京都下水道事業 経営・環境レポート 2006 概要版  
 編集・発行：東京都下水道局総務部理財課  
 所在地：〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
 電話：03(5320)6527  
 ホームページ： <http://www.gesui.metro.tokyo.jp/>

平成18年12月発行  
 平成18年度  
 規格表第4類  
 登録第109号

# 東京都下水道事業 経営・環境レポート2006



▲老朽化した管きよの再構築



▲完成した「東品川ポンプ所」



▲完成した「あきる野幹線」  
( 沢を横断する水管橋 )



▲水再生センターの施設見学会

東京都下水道局

■ 「経営・環境レポート 2006」は、東京都下水道事業の平成 17 年度の実施状況を分かりやすくお知らせし、お客さまに一層理解していただくとともに、お客さまからご意見・ご要望をいただき、事業に反映させていくことを目的として作成しています。

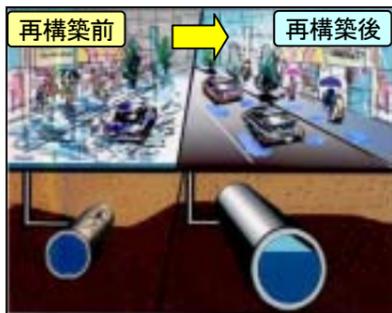
■ 「経営編」では、「経営計画 2004」の平成 17 年度における実施状況を掲載しています。

■ 「環境編」では、平成 17 年度環境報告書として、環境負荷低減の取組を掲載しています。

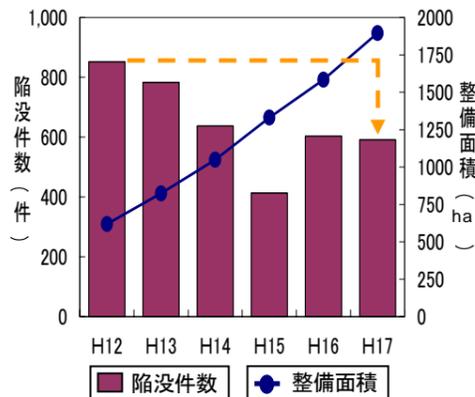
老朽化施設の再構築 (安全性の向上)

- 下水道幹線の再構築を 1.5km、枝線管きよの再構築を 312.6ha 実施しました。
- 家庭と管きよをつなぐ取付管の取替工事などを 50ha 実施しました。
- 再構築工事の進捗に伴い、道路陥没件数が減少しています。

《管きよの能力不足解消のイメージ図》



《再構築の整備面積と陥没件数の推移》

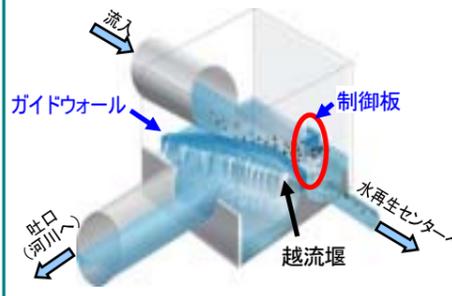


※再構築対象区域の数値

合流式下水道の改善 (快適性の向上)

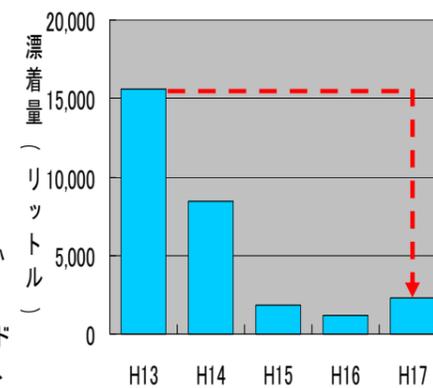
- 新河岸水再生センターなど 4 か所で雨水貯留池を整備したほか、神田川などで水面制御装置(下図)の設置などの雨水吐口対策を 81 か所実施しました。
- お台場海浜公園へのオイルボール(油の固まり)の漂着量が減少するなどの効果が現れています。

《水面制御装置のイメージ図》



越流堰を越えようとする浮遊ごみなどをガイドウォールでため、制御板で渦流を起こすことで、ごみを水再生センターへ送ります。

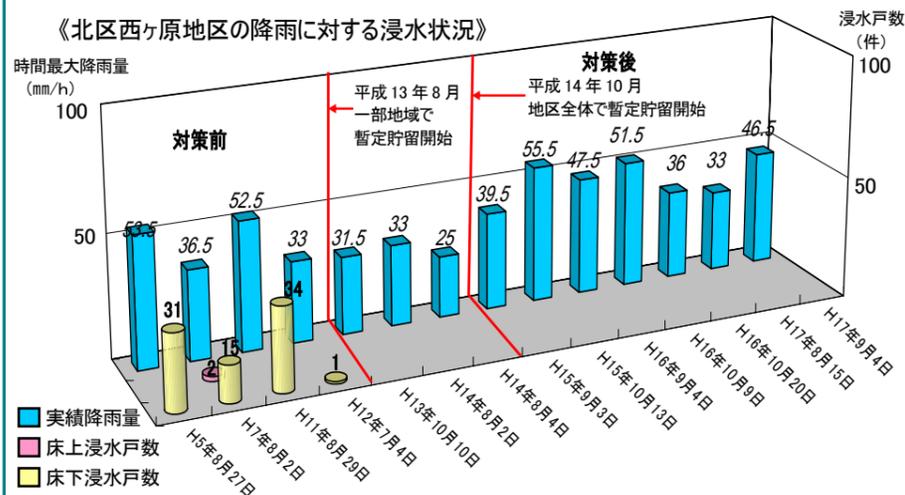
《お台場へのオイルボール漂着量の推移》



浸水対策の推進 (安全性の向上)

- 東品川ポンプ所、江東ポンプ所で雨水ポンプ 5 台を整備したほか、豪雨時の雨水を一時的に貯める南砂雨水調整池を完成させました。
- 雨水貯留管などの整備により、浸水被害の発生が減少しています。

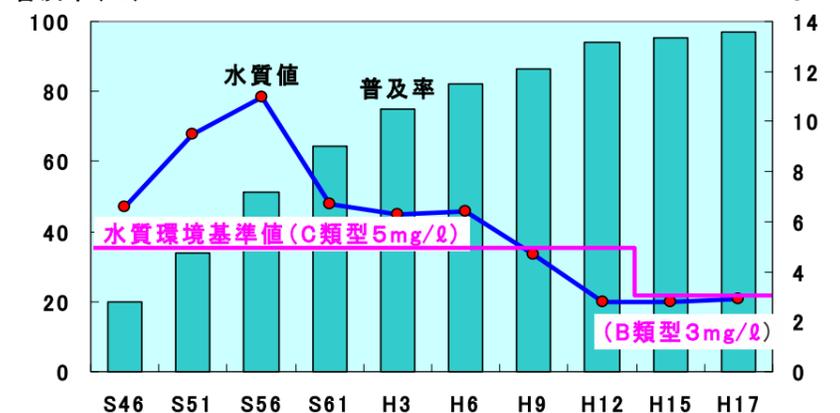
《北区西ヶ原地区の降雨に対する浸水状況》



未普及地域の解消 (多摩地域の都民生活と水環境を守る)

- 檜原村の下水の受入に必要な「あきる野幹線」を完成させたほか、八王子水再生センターなどで水処理施設(高度処理施設)の整備を進めました。
- 多摩地域の下水道普及率は、平成 17 年度末で 96%となりました。(区部は平成 6 年度末に 100%普及概成)

普及率(%) 《下水道普及率と多摩川の水質(中流域)の推移》



地域とのパートナーシップの充実

- 水再生センターでは、「地域に愛され親しまれる」水再生センターとなるために、地域の方々との交流を深める取組を進めました。
- 水再生センターごとの特徴を生かした取組や地域の方々のご協力により、平成 17 年度の局全体のイベント来場者数は、10 万 8 千人に達しました。

▼桜と施設見学会

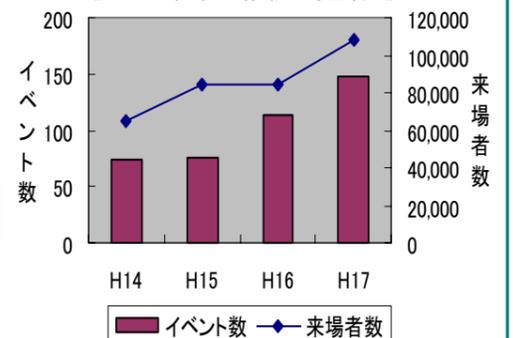


野草教室

“センター内に自生する野草の観察会”



《イベント実績の推移(局全体)》



財政収支

- 経営改善努力として、建設改良コストの縮減等により、区部下水道では約 180 億円、流域下水道では約 29 億円の経費を縮減しました。
- 財政収支は、経営改善による経費の縮減などにより、計画に対して、区部下水道では約 66 億円、流域下水道では約 9 億円の改善となりました。

《財政収支の状況》

区分	区部下水道		流域下水道	
	計画	決算	計画	決算
収入	5,632	5,453	160	155
支出	5,667	5,422	156	142
収支差引過不足額	-35	31	4	13